

【報道関係者各位】



美術館北側正面（夜間）© SS Co., Ltd / Naomichi Sode

東広島市立美術館は2020年11月3日に「暮らしとともにあるART、生きる喜びに会う美術館」を基本理念として東広島市の市街地である西条へ移転オープンします。

そして、この基本理念を実現するため4つの理念を掲げています。

### ■鑑賞 ふれる

優れた文化や芸術にふれる

- ・特別展の開催、所蔵作品を中心にしたコレクション展の開催

### ■育成 はぐくむ

地域の文化や人をはぐくむ

- ・市民の芸術活動の発表の場としてアートギャラリーの活用

### ■創造 つくる

個性豊かな文化を創造し発信する

- ・アートスペースを活用したワークショップや美術館講座等の開催

### ■交流 つなぐ

人が集い、交わり、ひろがる

- ・東広島芸術文化ホールくららや西条中央公園との一体的活用

## ■東広島市立美術館 トピックス

1. 当館コレクションは、「近現代版画」「現代陶芸」「郷土ゆかり」を中心に継続的な作品収集をしており、現在 853 点の作品を所蔵しています。
2. 新館では 2 階展示室にて主にコレクション展示を行い、年間を通じて当館コレクションを皆様にご紹介いたします。
3. 特別展では、国内外の優れた美術作品を紹介する展覧会をはじめ、1982 年から続く「現代絵本作家原画展」、郷土ゆかりの美術やテーマ展示による自主企画展等を開催します。
4. 展覧会に関連した講演会やワークショップ等様々なイベントに加え、学芸員等による美術館講座や作品解説、美術鑑賞や学校授業への協力など、地域の芸術文化振興のため幅広い活動を展開していきます。



3F 展示室



アートスペース

## ■建築概要

建物名称	東広島市立美術館
所在地	東広島市西条栄町 9 番 1 号
敷地面積	1,805 m <sup>2</sup>
建築面積	1,385.86 m <sup>2</sup>
延床面積	3,946.67 m <sup>2</sup>
展示室面積	2 階 300 m <sup>2</sup> 、3 階 600 m <sup>2</sup>
諸室面積	アートギャラリー100 m <sup>2</sup> 、アートスペース 120 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造
規模	地上 4 階建（建築基準法上）実運用 3 階
開館時期	2020 年 11 月 3 日（アートギャラリー使用 2021 年 4 月 12 日 ～）
設計・管理	香山・大旗（仮称）東広島市立美術館設計共同体
建築施工	松井建設株式会社

# 日常とつながる 美術の扉

わたしたちと  
美術の出会い

2020.11.03 |火・祝| — 12.20 |日|

新美術館開館記念特別コレクション展

2020年11月3日の文化の日に新美術館開館記念特別コレクション展として「日常とつながる美術の扉—わたしたちと美術の出会い」を開催します。

本展では、40年以上の歴史をもつ当館の歩みを振り返るとともに、これまでの収集活動の精華であり、この度初公開となる新収蔵作品を含む当館コレクションを中心として、地域の美術や文化を交えながら日常とつながる美術の多様性やその豊かさを紹介します。

わたしたちの日常と美術の関わりを、作品を通じて様々な角度からひも解くことで、日々の暮らしにおける「生きる喜び」との出会いの場となれば幸いです。

**会 期**：2020年11月3日（火・祝）—12月20日（日）

**開館時間**：9時—17時（入館は閉館30分前まで）

\*11月3日は10:00開館（無料開館）／11月27日（金）、12月18日（金）は19:00まで開館

**休 館 日**：月曜日（祝日の場合は翌日）

**会 場**：東広島市立美術館 2階展示室、3階展示室

**観 覧 料**：一般600円、大学生300円、高校生以下無料（20名以上団体2割引）

**主 催**：東広島市立美術館、中国新聞社

**後 援**：NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、（株）広島リビング新聞社、プレスネット、KAMONケーブルテレビ、FM東広島89.7MHz

## プロローグ「美術館物語」

大久保博、平田周子作品、開館から現在までの写真資料等

## 第1章「時とともに」

木造薬師如来坐像（広島県重要文化財、安芸國分寺蔵）、殿敷侃、藤岡亜弥、遠藤彰子、難波平人ほか

## 第2章「メディアから伝わるもの」

今井政之、山本鼎、永瀬義郎、橋口五葉、棟方志功、李禹煥ほか

## 第3章「旅から広がる景色」

吉田博、木村芳郎、恩地孝四郎、岡田裕ほか

## 第4章「幻想と現実の間で」

小清水漸、加納光於、池田満寿夫、草間彌生、岡崎紀、三輪和彦ほか

## エピローグ 「生きる喜び」

ジョアン・ミロ

### ■主な出品作家

#### 今井 政之 Masayuki IMAI 1930（昭和5）年 -

大阪市生まれ。1943（昭和18）年父の故郷竹原市に疎開する。1947（同22）年広島県立竹原工業学校金属工業科を卒業後、父のすすめで陶芸家を志した今井は、備前の鈴木黄哉、西川清翠のもとで修業を始めた。

1949（同24）年岡山県工業試験場窯業分室に勤務し、釉薬や陶土研究を行う。1952（同27）年京都で初代勝尾青龍洞の門人となる。同年京都青陶会の創立同人となり主宰の楠部彌弐に師事、翌年第9回日展で初入選を果たす。以後、日展を中心に発表・受賞を重ね評価を高めていく。60年代にはオリジナル釉薬である「苔泥彩」や代表技法の「面象嵌」を成功させた。2018（平成30）年文化勲章受章。



今井政之《象嵌彩窯変洋蘭花壺》1981

#### ジョアン・ミロ Joan Miro 1893-1983

スペインに生まれる。故郷カタルーニャへの強い思いを作品へと反映し、90歳で生涯の幕を閉じたミロは2000点以上の作品を残した。

この度当館で新収蔵することとなったミロの「最後の版画」と称される一連のシリーズを初公開する。

ミロの特徴である自由奔放で記号的といわれるイメージは、彼の目を通して何気ない身近なものを真摯に見つめることで生み出されたものである。

太陽や星、女性や鳥などのモチーフを好み、明るく朗らかな生命力あふれるイメージを数多く描いた。



ジョアン・ミロ《LA MARCHANDE DE COULEURS》1981

### ▼シンポジウム「くらしとART－地域における美術」

日時＝2020年11月7日（土）13：30～15：30

講師＝金田晋（東亜大学特任教授・広島大学名誉教授）

三木哲夫（兵庫陶芸美術館館長）、藤岡亜弥（写真家）

国内外の地域における様々な「ART」について事例を発表するとともに地方の美術館が目指す未来についてディスカッションします。



藤岡亜弥『川はゆく』より 2017 © Aya Fujioka

### ▼対談：遠藤彰子 [武蔵野美術大学名誉教授]

難波平人 [広島大学名誉教授]

日時＝2020年11月22日（日）14：00～15：00

画家であり教育者としての経歴をもつ両者が、日々の経験から影響を受けたものやことについて触れながら、現在までの活動についてお話しします。



遠藤彰子 《沈める街》 1989



難波平人 《遺響》 1999

### ▼アーティストトーク 伊勢崎淳 [重要無形文化財保持者(備前焼・人間国宝)]

日時＝2020年12月5日（土）14：00～15：00

重要無形文化財保持者の伊勢崎淳氏を招き、備前焼の歴史を辿りながら、備前の土とその風土の重要性についてお話しします。



伊勢崎淳 《服》 1997

### ▼ワークショップ「ミロのカタチと色」

日時＝2020年11月14日（土）14：00～15：30

講師：久保田貴美子（造形作家、比治山大学短期大学部准教授）

初公開となる新収蔵品ジョアン・ミロの「最後の版画」をテーマに、特徴的なモチーフの形や大胆な色使いから得た自由な発想で作品制作をする親子参加型ワークショップです。

### ▼コンサート「ミロと音楽－ALLEGRO VIVACE」

日時＝2020年11月28日（土）18：00～ 2階展示室

奏者＝上垣内寿光（ギタリスト）

ミロの作品を鑑賞しながら、ミロの愛した音楽や故郷であるスペインの音楽を中心としたプログラムをお届けします。



ジョアン・ミロ 《LA MARCHANDE DE COULEURS》 1981

© Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 C3324

### ▼ワークショップ「建築デザインとステンシルでマイバッグづくり」

日時＝2020年12月12日（土）14：00～15：30

講師＝当館学芸員

建築についてご案内するとともに、新美術館の特徴である窓をモチーフにステンシルでの刷り体験を行いオリジナルのマイバックを作ります。



## 東広島市立美術館 広報用画像使用について

東広島市立美術館 広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

- 本広報用画像の使用は、出版・放送（番組）、WEB等、東広島市立美術館の広報を目的とした報道に限らせていただきます。
- 画像は、「広報用画像申込書」に掲載・放送内容を具体的に記載のうえご申請ください。東広島市立美術館より画像データをお送りいたします。美術館より提供した画像は、使用后必ずご担当者が責任をもって破棄してください。
- 美術館写真①～⑥を掲載の際は、「広報用画像申込書」をご参照のうえ、コピーライト表記（© SS Co., Ltd / Naomichi Sode）を入れてください。
- 作品写真⑩～⑭を掲載の際は「広報用画像申込書」をご参照のうえ、キャプション・コピーライト表記を入れてください。
- 画像は全図で使用してください。トリミング・文字のせ、部分使用はできません。
- シンボルロゴを使用する際は、文字や絵など他のデザイン要素を重ねたり、横切らせたり、余白を削除しないでください。
- 申請いただいた媒体以外の企画での二次使用はできません（例：出版物表紙、広告素材使用等）。再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。
- 基本情報と画像使用の確認のため、校正をFAXまたはメールで東広島市立美術館 指定管理者 株式会社イズミテクノにお送りください。
- 掲載紙・誌または同録テープを2部、東広島市立美術 指定管理者 株式会社イズミテクノにご提供ください。

本資料に関する問い合わせ

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

東広島市立美術館 指定管理者 (株)イズミテクノ 広報：桑原 TEL082-430-7117

東広島市立美術館 広報用画像申込書

■FAX 082-430-7118 ■E-mail hhmoa2020info@gmail.com (東広島市立美術館 指定管理者 ㈱イズミテクノ)

申し込みフォーム			
貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		E-mail	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL	FAX	
放送日	年 月 日	掲載号発売日	年 月 日
放送/掲載内容			
画像データの必要期限	年 月 日まで		

※上欄にご記入いただいた個人情報は、広報用画像貸出の目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

広報用画像一覧掲載ご希望の画像 (□にチェックをいれてください)					
① <input type="checkbox"/>		⑥ <input type="checkbox"/>		⑪ <input type="checkbox"/>	
② <input type="checkbox"/>		⑦ <input type="checkbox"/>		⑫ <input type="checkbox"/>	
③ <input type="checkbox"/>		⑧ <input type="checkbox"/>		⑬ <input type="checkbox"/>	
④ <input type="checkbox"/>		⑨ <input type="checkbox"/>		⑭ <input type="checkbox"/>	
⑤ <input type="checkbox"/>		⑩ <input type="checkbox"/>			

■作品キャプション

①～③美術館外観 ④アートギャラリー ⑤旧美術館扉・欄間 ⑥1階ロビー \*コピーライト表示© SS Co., Ltd / Naomichi Sode

⑩遠藤彰子《沈める街》1989 ⑪藤岡亜弥『川はゆく』より 2017 © Aya Fujioka 作家蔵 ⑫川西英《古道具屋》1941

⑬今井政之《象嵌彩窯変洋蘭花壺》1981 ⑭ジョアン・ミロ《LA MARCHANDE DE COULEURS》1981 © Successió Miró / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2020 C3324